

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター安食(保育所等訪問支援事業)		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的なスキルを持った、10年以上の経験を有した職員が訪問支援を実施していること	訪問支援は、訪問支援員が単独で動くことが多いが、報告内容や対応について会議の中で検討することを徹底している。	ニーズに合わせた、訪問支援員の増員を行う。
2	センターの中で専門職とのケース検討を実施することができること	対象の児の様々な観点からの困りを、通園先でどのように理解に繋げていくかを心理士や言語聴覚士、理学療法士を交えて方向性を考えていくように心がけている。	必要に応じた会議を行えるように調整を心がける
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、訪問支援員のニーズに対しての人数が足りていない	訪問支援に行くことの重要性を鑑みて、そこに対応できるスキルを育てていく時間が不足している	インクルージョンに向けて大切な事業なので、訪問支援員育成の研修を実施していく
2			
3			